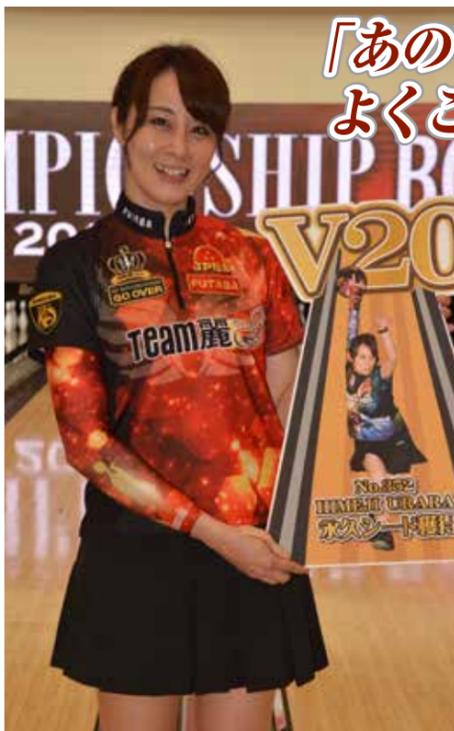


TOPICS & INFORMATION

KUWATA CUP2020 情報

全国各地でアマチュア予選会たけなわ!



「あの下手だった自分が、よくここまでこられたなど…」

姫路麗が女子で9人目の永久シード

を達成、永久シード入りを決めた。女子では9人目の永久シード誕生となったが、とくに近年はトーナメント本数が減少しているなかでの価値ある達成だ。

姫路のコメント

デビュー当時、自分がどれだけ下手だったかという記憶が鮮明にあるので、よくここまでこられたなど、信じられない気持ちです。2年前、リスタイの禁止が決定した時点で16勝でした。2年の猶予があるから年間2勝

今季開幕戦で永久シードに王手をかけていた姫路麗が、本号でも紹介のとおり「ROUND1 GRAND CHAMPIONSHIP」JPBA決勝大会でついに20勝

につすれば届くなど、そのときから2019年中の達成を目標にしていました。ただ本当に力が入るようになったのは、今年初戦のオールスターで19勝目を挙げたあと。六甲クイーンズで20勝をかけての優勝決定戦で、改めてその重さを知りました。あまりに勝ちたいという気持ちが前に出て、10フレの最後の1投までレーンを読み切る、ということがおろそかになっていた。だから準優勝に終わった六甲の経験が生きた今回の優勝でした。これまでは他のことはすべてわきに置いて、とにかく20勝を…ということでやってきましたから、これを達成したあとの試合で、どんな気持ちになるのかはわからないですね。



前号既報の通り、2年連続での開催が決定したKUWATA CUP(正式な大会名称は「KUWATA CUP2020～みんなのボウリング大会～」)は、10月1日にスタートしたハウスボウラー対象のアマチュア予選会が、全国各地で早くもたけなわの賑わいをみせている。

全国47都道府県の約500センターで「いつどこでも、誰もが何度でもエントリーできる」同予選会の開催期間は2020年1月13日まで。ジュニア部門(小学生)男女計150名、一般部門(中学生～60歳未満)同350名、シニア部門(予選会最終日時点で60歳以上)同150名、計650名の上位者が、20年2月21～22日、品川プリンスホテルB/Cで開催する本大会に選出される(男女の通過者数は10月31日までの参加比によって決定)。

オフィシャルサイトには、随時更新の「全国予選会ランキング」ページが開設されており、



前回大会のジュニア部門で優勝した小松巧実君(19年2月10日渋谷ヒカリエホール特設レーン)

参加者は自身の「所在地」を確認して、再チャレンジすることが可能。ちなみに、参加者には毎回「みんなの桑田賞」として、大会ロゴ(左上)をあしらったオフィシャルタオルがもれなく進呈される。

11月1日には、競技ボウラー部門(小学生以上のマイボウラー対象)のアマチュア予選会もスタート。KUWATA CUPの盛り上がりは、加速の一途をたどっている。

※予選会の詳細な参加要項は、下記オフィシャルサイトにてご確認ください。

<http://kuwatacup2020.jp/>

アジア選手権 安里秀策選手がマスターズ戦で銅メダル獲得

10月21日から30日まで、クウェートで行われていた「第25回アジアボウリング選手権大会」に、日本からは男子の6選手が参戦した。

日本チームは、前回金メダルを獲得した5人チーム戦を、4位でメダルを逃すなど苦戦が続いていた。オールイベントの上位16名によるマスターズ戦に

は、シングルス戦3位で日本チーム唯一のメダルを獲得していた安里秀策選手(和歌山)が10位で進出。2位で決勝ステップラダーに進み、3位決定戦で中国のDU JIANCHAO選手に234:256と惜敗したが、2つ目の銅メダルを獲得した。



マスターズ戦で銅メダルを獲得した安里秀策選手(右)写真提供:アジアボウリング連盟

全日本視覚障害者大会 40名が参加して熱戦

第18回を迎えた「全日本視覚障害者ボウリング選手権大会」(主催:一般社団法人全日本視覚障害者ボウリング協会)が、9月28日から2日間、東京ポートボウルで行われ、韓国からの招待選手6名を含む40選手が参加して熱戦が繰り広げられた。

障害の程度により(重い順に)B1、B2、B3の3クラスに分かれ個人戦(6G)、ダブルス戦(6G)が行われ、その合計得点により個人総合が争われた。

B1クラスは1553で高木綾子選手(東京)、B

2クラスは2084で森透選手(奈良)、B3クラスは2066で尾崎登志夫選手(福岡)がそれぞれ総合優勝を飾った。



大会のダイジェストが12月にインターネットで公開される予定だが、実況を担当する高木綾子選手

第46回全国実業団選手権 大同特殊鋼が初優勝



▲初優勝の大同特殊鋼

全国実業団ボウリング連盟の令和元年ナンバー1チームを決める「第46回全国実業団選手

権大会」が、128チーム(4人チーム)が参加して10月19、20の両日、愛知・稲沢グラウンドボウルで行われた。

予選(9G)で8194を打った大同特殊鋼(株)A(松崎・田中・登川・吉田)が、2位のアルゴA(榎村・東島・石本・杉本)に272ピン差をつけていた。大同特殊鋼(株)Aは、決勝(3G)でアルゴAの猛追にあったが、15ピン差しのぐ10729で初優勝を飾った。

トーナメントカレンダー

Table with 2 columns: Date and Event Name. Includes events like NBF 47th All Japan Bowling Championship, BPAJ 53rd Charity Bowling, and ABBF 35th All Japan Industrial Team Selection Championship.

Advertisement for Parklanes bowling center. Features photos of six bowlers, a QR code, and contact information: JR横浜線・相模原駅徒歩2分, 相模原パークレーンズ, http://parklanes.jp/ TEL. 042-755-1110. Includes the text '最新の技術、豊富な経験を持つドリラー6名在籍' and 'オンラインショップのパイオニア'.